

地震被害想定調査及び津波シミュレーション調査について

防災・危機管理課

(1) 概要

①地震被害想定調査

県内の建物状況や国の地震研究に関する知見などを踏まえ、地震による被害を予測するとともに、地震防災対策を推進した場合の被害の軽減効果を予測するもの

②津波シミュレーション調査

津波による浸水想定面積、最高津波水位、最高津波到達時間等を予測するとともに、津波による人的被害、建物被害及び津波防災対策を推進した場合の被害の軽減効果を予測するもの

(2) 実施済みの地震被害想定調査及び津波シミュレーション調査

跡津川断層、呉羽山断層、法林寺断層及び砺波平野断層帯西部、本県に隣接する森本・富樫断層帯及び邑知淵断層帯を震源とする地震について被害想定調査を行っている。

また、津波シミュレーション調査は、呉羽山断層帯、糸魚川沖、富山湾西側、魚津沖、能登半島南東沖の断層について実施している。

(調査実施済みの断層図については参考資料2のとおり)

(3) 地震・津波調査検討ワーキンググループ

富山県防災会議地震対策部会に、専門家による地震・津波調査検討ワーキンググループを今年5月に設置し、海域活断層や海域と陸域にまたがる断層に加え、複数の断層が同時に活動する連動型断層なども含め、調査対象断層や被害想定項目について検討。

これまでに、ワーキンググループを5月14日、6月9日、8月4日の3回開催し、その検討結果については資料1～3のとおり。

地震・津波調査検討ワーキンググループ委員

氏名	所属・役職名	区分
川崎 一郎	京都大学名誉教授 (座長)	地震
竹内 章	富山大学名誉教授	
古谷 元	富山県立大学工学部教授	
宮島 昌克	金沢大学名誉教授	
安江 健一	富山大学都市デザイン学部准教授	
呉 修一	富山県立大学工学部教授	津波
菅原 大助	東北大学災害科学国際研究所准教授	